

科学技術と人間の関係を探るテーマとして、議論を展開。

人間くささ

応用科学学会では、「人間くささ」をテーマに、活発な意見交換を行っています。年に一度のシンポジウムでは、講演やパネルディスカッションで、この「人間くささ」をテーマに、さまざまな専門分野の著名な先生方のご意見を伺い、参加者の方々とともに議論を展開しています。

科学技術と人間くささ

応用科学学会会長 藤井 信生

二足歩行をし、踊り、トランペットを吹き鳴らす人型ロボット、愛くるしい動作をするロボット犬などを見ると、それが機械であると知っていても、思わず見とれ、またホッとするのは何故だろうか。人は何故このようなロボットを作るのであろうか。物を運び移動するという機能だけに注目すると、二足歩行の人型ロボットは全く効率が悪い。

高度に発達した科学技術は、利便性に富み快適な社会を提供し、それを我々は享受している。しかし、高度な科学技術が作る社会は、人と人の接触の機会を奪い、豊かな人間性の醸成の妨げになりつつある。電子メールを通しての会話しか出来ない大人、電子ゲームに夢中になる子供達。いずれも対面相手は機械であり、そこに人の感情をぶつけても反応は冷たい。喜怒哀楽は人間の持つ人間らしさの現れであり、これを人間同士ぶつけ合い、人は成長する。無機質な機械から少しでも逃れ、より人間くさい機能を求めたとき、人型ロボットが登場したのではないであらうか。その不完全でどこか不自然な動作は、何ともユーモラスで、それでいて人間くささとあたたかさを感じる。

余裕、無駄、雑音等の本来の機能以外を徹底的に排除した場合、人は心地悪さを感じ、逆に、1/fのゆらぎや、ざわざわとした軽度の雑音の存在は、心地よさをもたらす。これは人間の持つ感性に訴えるものであり、科学技術の不得手とするところである。発展し続ける科学技術は、無駄を排除し高効率化を求めるあまり、ひとの人間くささを希薄にし、暖かみのない無機質な社会へと展開していくのではないかと危惧される。

このような効率一辺倒の科学技術に人はどう対処すべきか等について、「科学技術と人間くささ」をテーマに自由闊達に意見交換をしていきたい。

2014 年度活動予定

2014 度は、以下の活動を予定しています。

今年度は各専門委員会の研究活動の一環として、また、会員とのコミュニケーションを活発化する場として、公開技術講演会を計画しております。

※予定は変更する場合がございます。

2014

- 5月 演算増幅器設計コンテスト 企業説明会
- 6月 定期総会
公開技術講演会
(未来センサ・通信応用/ヒューマンライティング専門委員会共催)
- 7月 公開技術講演会(計測制御システム設計専門委員会主催)
演算増幅器設計コンテスト 作品受付期間(～9月)
- 8月 演算増幅器設計セミナー
- 9月 公開技術講演会
(電子回路応用/未来センサ・通信応用/ヒューマンライティング専門委員会共催)
- 10月 演算増幅器設計コンテスト 審査会
- 11月 秋季シンポジウム
演算増幅器設計コンテスト 発表会・表彰式
- 12月 応用科学学会誌「秋季シンポジウム予稿集」発行

2015

- 2月 公開技術講演会
(計測制御システム設計/ヒューマンライティング専門委員会共催)
- 3月 公開技術講演会
(電子回路応用/未来センサ・通信応用専門委員会共催)



協賛企業

※五十音順

- 株式会社エヌエフ回路設計ブロック
- 株式会社計測技術研究所
- 新日本無線株式会社
- 日本電産エレシス株式会社
- 日本ナショナルインスツルメンツ株式会社
- 株式会社本田技術研究所

新規会員募集中!

お申込みは、当学会Webサイトから。
<http://www.ohyokagaku.org/>
初年度年会費が半額割引となっています。
(新規入会年会費 2,500円/年)

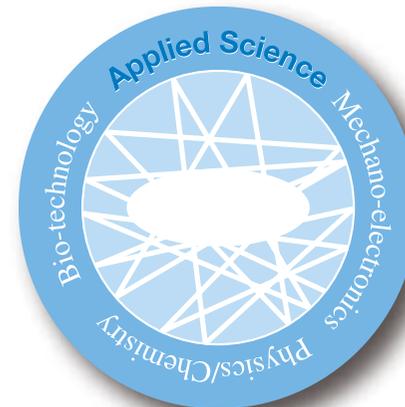
応用科学学会

〒223-0052 横浜市港北区綱島東 6-3-20 株式会社エヌエフ回路設計ブロック内
TEL/FAX : 045-545-0133 E-mail : info@ohyokagaku.org <http://www.ohyokagaku.org/>

応用科学学会

The Japan Society of Applied Science

2014 年度版



応用科学学会とは

応用科学学会は、『自然、そこに発想の原点がある』を基本理念に、自然と調和した科学と技術を考えることを趣意に1985年より活動を続けています。

科学技術のあらゆる分野の応用および複合技術の研究・調査活動を通じて、科学技術の発展、その応用ならびに創造性開発に寄与することを目的としています。

おもな活動内容

- 講演会・パネルディスカッションの開催
- 研究発表会、セミナーの開催
- 演算増幅器設計コンテストの開催
- 新技術・新商品トピックスの紹介
- 学会誌ならびにパネルディスカッション録等の発行
- 交流会
- 工場見学会
- 表彰

会員の種別

- 正会員 この学会の目的に賛同する個人
- 学生会員 学生およびそれに準ずる個人
- 名誉会員 科学技術の応用に大きな実績を上げ、または学会の発展に貢献された方で総会において承認された個人
- 賛助会員 この学会の目的に賛同する法人

特典

1. 講演会・パネルディスカッションへの参加
2. 委員会への参加
3. 学会誌等の配布
4. 技術相談、文献・情報援助、共同研究 など

専門委員会

応用科学学会では、専門委員会を組織し、研究活動を行っています。専門委員会は独自に研究テーマを設定して、活動しています。

電子回路応用専門委員会

開発現場で遭遇する数々の課題に対して、日夜奮闘している開発者がその課題解決に至った経緯・過程を実学に基づいて発表し、広く意見交換を行います。



計測制御システム設計専門委員会

計測・制御・システム設計における共通課題に注目し、コンセプトや事例紹介、ディスカッションフォーラム等のイベントを通じて、課題解決に役立つ技術の情報交換を行い、応用分野における専門知識を深めることを目的としています。



未来センサ・通信応用専門委員会

さまざまな分野で行われている通信やセンサの検討を参考につつ、通信やセンサとは無縁そうに見える分野とのマッチングも行い、未来社会、未来生活を豊かにする通信やセンサについて考察していきます。



ヒューマンライティング専門委員会

“ヒューマンライティング”をキーワードに、人間の感覚として多くの部分を占めている視覚、また照明分野に関して、幅広く意見・情報交換を行い、快適で安全な環境について考察していきます。

演算増幅器設計コンテスト運営委員会

2012年度より「演算増幅器設計コンテスト」を主催することとなりました。その運営を統括する委員会です。

シンポジウム

年に一度シンポジウムを開催します。さまざまな分野の権威を招いての基調講演、『科学技術と人間くささ』をテーマにしたパネルディスカッション、技術セミナーや研究発表会などを行います。

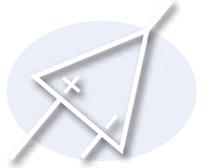


- 秋季シンポジウム2013 『ベンチャーとひと』
(東京理科大学森戸記念館)

演算増幅器設計コンテスト

アナログ集積回路技術全般を習得した、実社会に通じるアナログ回路技術者を高等教育機関から輩出することを目的とし、本コンテストを開催致します。

本コンテストは、参加者（高等教育機関所属の学生）が設計した演算増幅器を実際に集積回路として実現しその特性を競う部門（試作の部）および参加者の設計内容を計算機シミュレーションにより評価する部門（シミュレーションの部）の2部門からなります。2014年度からは、試作の都合により開催していなかった「試作の部」を再開いたします。「試作の部」は、実際に集積回路として実現した演算増幅器の性能を競い合います。また、「シミュレーションの部」では、コンテスト開催期間中、常に暫定的な順位をWEB上で公開することにより、参加者同士の切磋琢磨を促すという特徴があります。



群馬大学アナログ集積回路研究会との共催講演

産業界・学界の一流の方々を講師に迎えて、AD/DA変換器技術、LSIテスト技術、電源回路、半導体モデリング技術の講演など、エレクトロニクスの幅広い分野での講演を予定しています。

入会のご案内

他の分野の人と話をしたい、現存する専門分野の学会は敷居が高く入りにくい、あるいは、同じ分野の技術者と意見交換をしたいなどを考えている方は、是非、当学会にご入会ください。異分野、異業種の方々との交流により、新しい発見をしていただけたらと思います。

入会をご希望の方、専門委員会の活動に興味があり参加してみたい方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

■ 会費 2014度は、新規会員および賛助会員の年会費は半額となります。

- 入会金：なし
- 年会費：正会員 5,000円 新規入会の場合→ 2,500円
- 名誉会員 無料
- 学生会員 2,000円 新規入会の場合→ 1,000円
- 賛助会員 100,000円 → 50,000円

お問い合わせ先

応用科学学会 事務局

Tel/Fax:045-545-0133 E-mail:info@ohyokagaku.org

<http://www.ohyokagaku.org/>